

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和2年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	伊万里市立啓成中学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導面：授業妨害や教師の指導無視等の問題傾向は減少傾向にあるが、個別に指導・支援を要する生徒や、家庭環境など学校だけでは解決できない諸問題が増加してきている。そのため、S CやS S W、家庭児童相談室等の外部機関と連携した生徒指導を推進していく必要がある。 学習指導面：基礎・基本を定着させ、学力向上を図る。そのために、主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善をに取り組むとともに、家庭と連動した取組を実施することで家庭学習の充実を図る必要がある。
2 学校教育目標	<p>みんなの学校 みんなの授業 みんなで活動 ～共生の啓成Creation～</p>
3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導面：「みんなの学校・みんなで活動づくり」を通して、健全な自尊心（自己尊重感・自己有能感）を高めさせ主体的に活動する生徒の育成を図る。（①出番一役割一承認の教育活動の実践。②地域・家庭との積極的な関わり。） 学習指導面：「みんなの授業づくり」を通して、基礎学力を定着させ学力の向上を図るために、全職員で共通理解・共通実践を行う。（①みんなが「できた」「わかった」と感じる授業づくり。②校内研修での、学力向上対策シートを活用したマイプランの作成と可視化による共通理解。③全学年で自主学習ノートに取り組み、家庭学習の充を図る。

4 重点取組内容・成果指標				5 最終評価			主な担当者	
(1)共通評価項目				最終評価		学校関係者評価		
評価項目	重点取組	成果指標 (数値目標)	具体的取組	達成度 (評価)	実施結果	評価		意見や提言
●学力の向上	●全職員による共通理解と共通実践	●学力向上対策評価シートに示したマイプランの成果指標を達成した教師80%以上	●全職員で、学力向上対策シートにおける本校の実態とマイプランを共通理解・共通認識することで学力向上に取り組む。	A	●学力向上対策評価シートのマイプランの成果指標を達成した教師は78%であった。成果はもう一歩だったが、職員の学力向上に向けた意識の向上を図ることができた。	A	●生活指導面での向上により、学力向上の数値も上がっていると聞いている。今後も引き続き頑張っていたら好循環の中で更に向上する。伊万里のリーダー的役割を期待したい。 ●達成率78%は十分評価できると思います。	◎学力向上C ◎研究主任
	○(学校独自重点取組・任意) 授業と連動した家庭学習の充実	○(学校独自成果指標・任意) 生徒アンケートに「において、家庭学習時間が1時間未満の生徒20%以下	○全学年で自主学習ノートに取り組み、家庭学習の充実を図り、家庭学習の習慣化と学習内容の定着を図る。	A	●学校から出される課題にきちんと取り組んでいる生徒は85%であった。家庭学習では、1時間未満の生徒は昨年46%から27%に大きく向上した。	A	●3年前に評議員として最初に授業参観をした時と比べ、教室の雰囲気ははっきりと変わり生徒が落ち着いて授業を受けているようになったと思う。ただ、教職員や生徒の評価と保護者の評価に若干の差があるので、この分析を行う必要があるのではないかと。	◎学力向上C ◎研究主任
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会的、倫理的な正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○生徒アンケートにおいて、思いやりの項目「人の気持ちがわかる」80%以上	●校内研究を柱とした「特別な教科 道徳」の授業を充実させる。	A	●全学年で道徳の研究授業に取り組み、授業力の向上を図ることができた。 ●各学年でいじめやSNS等をテーマにした授業実践を行った。また、人権学習にも力を入れた。	A	●思春期とスマホの環境の中で、心の教育も難しい時代となった。人と人とのふれあい、コミュニケーション力を高めて、自立・成長ができればと願っている。	◎道徳教育推進教員 ◎人・同教育 ◎各学年主任
	●いじめの早期発見、早期対応体制の充実	○いじめ防止等(いじめの定義、いじめ防止のための取組、いじめ事案対処等)について組織的な対応ができていると回答した職員80%以上	●生徒との積極的な関わりやいじめアンケート、定期教育相談等を通して、共通理解・情報共有を行い、組織的な対応を充実させる。	A	●年間を通して、いじめの早期発見及び対処に努めることができた。職員アンケートでは、総合評価A(81%)であり、学年と連携しながら組織的な対応がとれた。	A	●いじめ対策は非常に難しいと思う。教職員全体で問題を共有することはもちろん、場合によっては有識者の意見を聞くことも必要ではないかと。 ●わずか2～3年前の荒れた生徒・学校からは想像できません。さらに良い学校環境の醸成をお願いします。	◎生徒指導主事 ◎各学年主任
	◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	◎「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒(中学3年生)70%以上	●キャリアパスポートを活用し、これまでの学びを振り返るとともに、高校調べや職場体験学習を通してのキャリア教育の充実を図る。	B	●キャリアパスポートは、各学年でそれぞれ取り組んでもらったが、なかなかうまく活用するところまでは行きつけなかったのが現状である。次年度は生徒が自身の成長を感じ取れるキャリアパスポートの活かし方を考え、より一層キャリア教育に役立てたい。	B	●自分の将来や夢、目標の実現に向けて努力する気持ちがある生徒が79%で、昨年度より7ポイント上昇しているのは評価できる。学習活動と体験活動等を通して、将来に希望を有する生徒の育成を期待します。	◎特活主任・3年主任 ◎各学年主任
	○生徒会との連動	○生徒アンケートにおいて「学校生活は充実している」生徒60%以上	●常時活動の主体的な計画・実践を促し、儀式を含めた学校行事の機会を捉え、生徒の活躍の場を仕組むことで、健全な自尊心(自己尊重感・自己有能感)を高めさせる。	A	●各委員会の意欲的な活動実践が見られた。行事や式典の司会等も生徒会が担うことで、より主体的な学校づくりにつながったと思われる。新生徒会役員も無言清掃の強化を働きかけるなど、生徒が自発的に向上しようとする様子があった。生徒アンケートでは、「学校生活は充実していますか」に対して、80%の生徒が肯定的な回答を行った。	A	●生徒会活動に積極的に取り組んでいる生徒79%、学級の係り活動に積極的に取り組んでいる生徒80%で、各4～5ポイント上昇しているのは評価できる。生徒主体の活動や、生徒たちの活躍の場の設定が子供たちの心を育てていると思います。	◎生徒会担当
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	○欠席者・遅刻者の理由を把握し、新たな不登校生徒の発生0人を目指す。	●毎日の健康観察で、欠席者・遅刻者の把握と理由の確認を行うとともに、職員間で情報共有することで不登校生徒の早期発見・予防に努める。	B	●欠席・遅刻が続く生徒には、本人の指導だけでなく保護者連絡し改善に向けて各学年対応できた。また、SC面談等にもつなぐことができた。しかし、改善できないままの生徒もいるので今後も引き続きチームで対応していく。	B	●コロナ禍の中で、規則正しい生活習慣や家族そろっての食生活など、大変なところもあると思うが、心身共に健やかな成長を願っている。 ●新型コロナウイルス感染症対策は、地域社会でも求められており、同様に学校の生活習慣や地域の生活習慣とする運動を提唱するなど、対策に生かすことはできないか。	◎教育相談担当 ◎養護教諭
	●「安全に関する資質・能力の育成」	●児童生徒の交通事故を0件を目指す。	●防災・安全指導を充実させ、日常生活における生徒の危機予測能力を育む。	A	●安全指導においては、生徒アンケートでは85%、保護者アンケートでは84%と結果になった。避難訓練や自転車通学者の指導など全職員で連携して取り組むことができた。	A	●新型コロナウイルス感染症拡大防止への取り組みは大変だと思います。これからも、学校がクラスターにならないようお願いします。	◎安全教育
	○感染症等の予防	○感染症、熱中症等の発生0件を目指す。	●手洗い・うがいを徹底させることで、感染症や食中毒の予防に努める。 ●熱中症指数の提示を行うことで、熱中症の予防に努める。	A	●手洗い、消毒、換気等の予防対策の意識は向上した。職員も毎日教室の消毒を行い対策を行った。現在、感染者0である。	A	●新型コロナウイルス感染症拡大防止への取り組みは大変だと思います。これからも、学校がクラスターにならないようお願いします。	◎養護教諭
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外勤務時間の上限を遵守する。	●定時退勤日の設定(毎週水曜日) ●部活動休業日の設定(第3日曜日・毎週水曜日)	B	●11月からの超勤時間の平均は45時間52分、年間46時間34分であった。定時退勤促進の徹底が不十分であった。 ●部活動休業日は、実行できたが、部活動休業日の定時退勤が実行できなかった。	B	●平日の部活動指導等の中、定時退勤の励行はなかなか難しいと思いますが、先生方自身の体調保持を第一に頑張ってください。 ●平日の部活動指導等の中、定時退勤の励行はなかなか難しいと思いますが、先生方自身の体調保持を第一に頑張ってください。	◎管理職
	○多忙感の解消	○職員の協働意識と同僚性を高め、業務の効率化と役割分担を行い、多忙感解消とを感じる職員70%を目指す。	●職員のタイムマネジメント力を高めさせるとともに、定時退勤日の確実な実施を行う。 ●事務職員、市雇用職員、非常勤講師等との連携・協力体制を構築する。	B	●職員アンケートで「働き方改革・業務改善」の項目で、総合評価B(67%)であった。 ●学校運営について、事務職員との連携を積極的に進め、校務の効率化が実現できた。	B	●学習指導、生徒指導の他に、報告書類など大変多忙との話も聞くので、ICTなどを活用して情報共有など進めれば良いと思う。	◎管理職
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価		学校関係者評価	主な担当者	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	達成度 (評価)	実施結果	評価		意見や提言
○コミュニティスクール開校に向けた準備	○地域・保護者に向けて、コミュニティスクール開校に関する周知を実施する。	○(学校独自成果指標・任意) 学校評価アンケートで、コミュニティスクール開校についての周知70%を目指す。	●学校だより・ホームページをはじめ、PTA行事や地域行事への参加の際、コミュニティスクールの意義や目的について積極的にアナウンスし周知を図る。	A	●学校運営協議会準備委員会を開催し、令和3年度からのスタートに向けて準備を整えることができた。地域や生徒・保護者に向けての周知をより一層強めたい。	A		●伊万里と牧島の小学校や地区のこれまでの特性や地域性を大事にしながら、新しい取組も互いに連携・協力して取り組めたらと思う。 ●地域へのC・Sの意義の周知がまだ不十分な気がします。何か周知の方法を考えられたいと思います。
○信頼される教職員としての意識の向上	○教職員としての高い倫理観と規範意識の向上	○組織の一員であることの自覚と日常におけるコンプライアンス意識を強化するとともに、服務規律保持100%を目指す。	●職員会議、服務指導0(ゼロ)の日で指導するだけでなく、外部人材による服務研修を実施する。	A	●信頼される学校に向けて、職員一丸となって服務規律の堅持ができた。 ●職員アンケートで「服務規律の保持」について総合評価A(93%)であった。	A	●教育者としての資質は、学校現場で醸成できると思うが、人間としての資質は、学校内と地域にいかにか早く受け込んでいけるにかにかかっていると思うので、可能であれば校区内にある各種団体の行事への参加や意見交換を行う場を設けたらどうか。	◎管理職
●…果共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育								
5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> 学力の向上については、学校全体が学力向上についての気運が高まっているので、次年度も今年度の取り組みを継続していきたい。また、家庭との連携を図り、家庭での学習時間1時間未満を20%以下にすること、0時間をなくし、更なる学力向上を目指す。 業務改善・働き方改革の推進については、データの共有や業務内容の改善を行うとともに、職員のタイムマネジメント力の向上が課題である。また、超勤時間の削減のために、定時退勤日の設定と実行をめざしたい。 次年度よりスタートするコミュニティスクールをとらえて、地域・保護者・学校が連携を図り、教育環境を充実させることで、生徒指導面と学習指導面をさらに向上させていきたい。 							